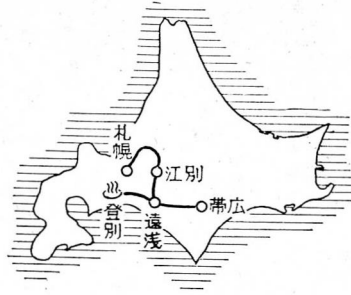


北海道酪農に何を学んだか

全国酪農視察団・北海道視察参加者の感想



今夏の酪農視察団は北海道

の先進酪農地である札幌、

江別、遠浅、帯広等の各地

を視察したのであるが、参

加者の感想概要を記して参

考に供したい。

関根哲夫氏 埼玉県日高町

酪農経営の四大原則である、乳牛の飼養
↓堆厩肥の生産↓土地改良↓良質飼料作物
の栽培、以上のことについて目と耳を以て、
深く学ぶことができた。

三井龜三百氏 山梨県甲府市

一 わが国酪農の最高レベルを行く地帯
であり、ここで、酪農人の理想を実現した
人達の業績を見学することは、幾度見ても
われわれの夢の楽園であり、明日からの仕
事の実際の糧であると思う。

一 各事業共良く事業計画を立ててお
り各年度別事業目標達成を実現しており、

北海道の酪農のうち大きく分けて二つの
型があるように思われる。

一つは種牛を作っている所、一つは酪農
本来の搾乳及び農耕をしている所で、前者
はわれわれ関東地区の者にとつて、経営面
においては、あまり得る所がなかったが、
乳牛を良くしてゆくという点で参考になつ
た。

山田新治氏 神奈川県茅ヶ崎市

またその隘路である弱点の是正に最大の努
力を重ねている所に頭が下がった。
一 一人でも多くの人々に視察してもら
い、各地方に応じた酪農の基盤を築いても
らいたい。

後藤 正氏 山梨県御坂町

北海道酪農視察の衆の内容を実際にこの
目で見、耳で聞いて、末長くこの衆を基に
あらゆる方面の酪農についての研究ができ
得ることと思います。ことに、雪印種苗の
上野幌育種場の見学は将来の酪農経営の飼
料作物栽培のあり方の基本をなすべきもの
として得るところが多でありました。

小野沢良雄氏 神奈川県津久井町

私達の酪農組合は神奈川県北部に位置
し、酪農業の専門化を計りつつありますが、

規模そのものはまだ小規模な経営でありま
す。

組合員五百余名、飼育頭数一千五百頭、
搾乳牛頭数八百頭、一日搾乳量五十石、平
均耕作面積五反歩、以上のような環境の下
に四年間いろいろ組合員と接し、また事務
に携つてまいりました私にとつて、この度
の北海道視察はまことに有意義に過すこと
が出来ました。

視察によつて私の印象に残つたことは、
第一、拡大な土地を利用した牧草作り
第二、経済検定を目的とした飼育管理
第三、乳牛の体積の大きいこと
以上の三点であります。

第一の場合北海道の経営をそのまま活用
することは無理ですが、牧草栽培の面では
かなり活用することがございました。北海
道においては、牧草を豊富に生産する関係
から、牛乳代金に対して購入飼料代金の占
める割合が二割とこのことですが私共の方は
乳代金に対して五割五分を占めております
故、牧草の価値について再考する必要があ
ると思ひます。

第二の点は全面的に活用する必要がある
と思ひます。牛の能力の向上と、経営に計
画性を持たせるとともに経済性から見た場
合にどうかということを明確に知る必要が
あると思ひます。今後は一頭でも多く検定
をするよう努力したいと思ひます。

第三の点は短期間に改良することは難し
いのですが、種牡牛の飼育管理等
も研究してより良い成績を上げたいと思ひ
ます。